



夕刻になると、白色の大屋根は温かなオレンジ色の光に包まれる



完成した佐賀駅前交流広場。広々とした空間で植栽に沿う形でベンチが設けられている = 佐賀市駅前中央

佐賀駅からまちなかに 人の流れを



武藤英海・佐賀市佐賀駅周辺整備構想推進室長

なぜ、いま駅周辺整備なのか。佐賀市の武藤英海・佐賀駅周辺整備構想推進室長にお話を伺いました。昨年11月に駅前交流広場が完成しました。整備のきっかけを教えてください。

——佐賀駅前の大規模リニューアルは、佐賀国体が開かれた1976(昭和51)年に佐賀駅が現在地に移転して以来46年ぶりです。当時は駅周辺のバス停がばらばらで、マイカーやタクシーで駅前の動線をきっちり分けようというのが主眼でした。一方、今回のリニューアルは「人のための広場をつくる」というところから出発しています。もちろん視線の先には2024年の国スポ・全障スポがあります。佐賀駅は佐賀の玄関口であり、全国からお見えになる皆さんをお迎えるためでもあります。

駅前交流広場の特徴を教えてください。

——これまで駅前には、待ち合わせしたり、休憩したりできるスペースが限られていました。広場には植栽スペースに沿う形で多くの人が腰掛けられるベンチを設けています。まだまだ寒い冬空ですが、皆さんがベンチに座って語り合っている姿を見ることができ、いいものができたと実感しています。広場は十分な広さがあり、さまざまなイベントでの利用を期待しています。

今後の展望をお聞かせください。

——SAGAアリーナがいよいよ5月にオープンします。佐賀バルナーズや久光スプリングスなどプロスポーツの試合、著名なアーティストのコンサートなどで、県外から大勢の方が佐賀にお越しになります。さらに来年には国スポ・全障スポの本番を迎えます。佐賀に来られた皆さんがそのまま帰られるのではなく、まずは駅佐賀城口(南口)でイベントなどを楽しんでいただき、さらに中心市街地に向かっていただくようにできればと思っています。そうなれば経済の波及効果も生まれます。近隣の民間の皆さんとの相乗効果で、ワクワクするような場になっていけばと思っています。



特集

変わる 駅ちか

にぎわい創出へ 佐賀駅前交流広場が誕生



祝 佐賀駅前広場 完成 令和4年 11月 19日

2024年に佐賀県で開かれる国民スポーツ大会(SAGA2024)を見据え、佐賀駅周辺整備が着々と進んでいます。佐賀城口(南口)には昨年11月、イベントなどに幅広く利用できる駅前交流広場が誕生。SAGAアリーナのオープンも間近に迫り、にぎわい創出に向けた動きが活発化しています。今回の特集では、整備事業の進捗よく状況とともに関係者らの期待の声を紹介します。

語り合いの場 待ち合わせにも



駅舎とコムボックス佐賀駅前をつなぐ白色の大屋根、植栽に沿って設けられたベンチ。JR利用や買い物で佐賀駅近くに行くと、「すいぶん雰囲気が変わったな」と実感します。これまでのタクシースペースと一般車用駐車場を西側に集約。東側に新設された駅前交流広場では、学生や若者がベンチに腰掛けて楽しみに語り合っており、待ち合わせやひと休みをしている人もいます。土・日曜を中心にイベントも行われています。

駅前交流広場の完成を祝う記念セレモニーは昨年11月19日に開かれました。式典で坂井英隆市長は「街が変わる大きな節目。にぎわいのある空間にしていきたい」とあいさつし、山口祥義知事とともにテープカットしました。

装いを新たにしたのは佐賀城口(南口)だけではありません。先行して2021年5月に改修が完了したサンライズ口(北口)は、それまでの変則交差点を解消し、スクランブル交差点にしたことで、人や車の流れがスムーズになっています。SAGAサンライズパークに向かうメインストリートとなる市道三溝線は、サンライズストリートと名付けられ、片側2車線を1車線化し、歩道を大きく広げて歩きたくなる道を目指した整備が進められています。

駅近くでは、市や県の取り組みに呼応するように民間の動きも活発化。ドトルルコーヒーなどが入る複合ビルが完成し、ホテル「東横イン佐賀駅前」は現地で建て替えて営業を再開しています。駅西側の鉄道高架下には4月末の開業を目指し、JR九州ビルマネジメントによる商業エリアのリニューアル工事も急ピッチで進んでいます。

うまいもん市場、佐賀がばい肉フェスなどイベントも続々



オープンから3カ月余り。駅前交流広場では多彩なイベントが実施されている

昨年11月19日のオープンから3カ月余り。佐賀駅前交流広場では、早くも多彩なイベントが行われています。アイデア次第でさらに活用が広がります。

オープニングに合わせて実施されたのは、「うまいもん市場」と「秋の美りクイズラリー」。JAさが女性部による物販や等身大乳牛のオブジェを用いた乳搾り体験などが家族連れなどに人気を集めました。その後も土・日曜を中心に「フィンランドフェア」「佐賀がばい肉フェス」「川副町特産品まつり」などがあり、多くの来場で近隣のお店にもいい波及効果が生まれているようです。2月末から3月にかけては、「A-モビリティ体験搭乗会」「佐賀の魅力さがしマルシェ」「自動車図書館ブिकास号」などが予定されています。

広場は2625㎡。広々とした空間で、LEDビジョンを置けば、サガン鳥栖などプロスポーツのパブリックビューイング(PV)も実施できそうです。

広場は4月1日以降、指定管理者が予約などを受け付けます。広場の全面をまとめて貸し出すほか、大屋根スペースのみ、大屋根前広場のみと区切って貸し出すことも可能です。広場内にキッチンカーを入れることができ、4人掛けや8人掛けのテーブルもあります。

指定管理者(代表・ビープラスト)の世戸誠典さんは「イベントに来られた方が『佐賀って面白そうなところだな』と思ってもらえるようにしたい。広場を利用して情報発信される方、お見えになる方の双方に利用しやすい場にしていければ」と話しています。



佐賀駅前交流広場

4/1~ご利用者様募集中



佐賀駅佐賀城口(南口)直結

[佐賀市駅前中央一丁目79番]

お問い合わせ先 **0952-37-6756**

hiroba@sagaekimae.jp

広さ	全体2,625㎡ ※植栽帯を含む
貸出区域	広場全面……………2区画(大屋根スペース+大屋根前広場) 大屋根スペースのみ ……1区画 ※広さ380㎡、タテ/ヨコ約18m 大屋根前広場のみ ……1区画 ※大屋根スペースを除く広場全面
利用種別	営利利用……………飲食物や物品の陳列、販売等、営利を目的とした利用 非営利利用……………集会や発表会など営利を目的としない利用
常設付帯設備	照明/4人掛けテーブル×5台/8人掛けテーブル×1台 ※テーブル類は大屋根スペースのみの設置となります。 ※テーブル類はR5年4月1日から設置します。

※R5年3月31日までは、上記取扱が異なります。
詳しくは、佐賀市佐賀駅周辺整備構想推進室(0952-40-7008)までお問い合わせください。



← 詳しいご利用方法等はここらからご確認ください

駅周辺をより魅力的に 私たちも一緒に盛り上げます

佐賀駅構内や周辺には、魅力的なお店がいっぱいです。SAGAアリーナのオープン、国スポ・全障スポに向け、関係者の間には一緒に盛り上げていこうという機運が高まっています。



「全国の人に佐賀のうどんのおいしさを伝えたい」と語る石井洋義さん=えきマチ1丁目佐賀の寅ちゃんうどん



寅ちゃんうどん(百年庵)は、創業約150年の井上製麺(神崎市)が運営するお店で、佐賀駅が現在地に移転した直後の1977(昭和52)年に駅構内の佐賀デイトス(現・えきマチ1丁目佐賀)にオープンしました。駅とともに歩み、飲食のお店で当時から営業を続けているのは「あら玉」さんとうちだけです。私は働き始めて20年、初代店長の恒松孝吉さんからバトンを受けて11年になります。佐賀のうどんは讃岐ほど硬くなく、博多ほど軟らかくありません。適度なごし、軟らかさがあり、「いとこ取りのうどん」だと思っています。スープの仕込みには脊振山系のマイナスイオン天然水を使い、地元産の食材にこだわっています。ダントツの一番人気は肉うどん。豚肉と佐賀牛と一緒に甘辛く煮ています。麺とスープのおいしさをシンプルに味わいたい方には、かけうどんがおすすめです。

佐賀うどんのおいしさ伝えたい

寅ちゃんうどん 店長 石井洋義さん

営業は午前10時から午後8時半までですが、駅だけにお客様が途切れることはありません。お昼はお勤めの方、午後は常連さん、夕方からは学生さんらが多く、年末年始は佐賀出身で帰省された方も、「変わらずにおいしい」と言ってくださるとうれしくなります。佐賀パルナーズの対戦相手のチームの選手が来てくださることもあります。駅周辺がきれいに変わってきていると実感します。一時期は新型コロナウイルスの影響もありましたが、駅前交流広場ができ、イベントがある日は人のいい流れが生まれています。プロスポーツやコンサートなどでアリーナにお見えになる全国の人に、ここでしか味わえない佐賀ならではのうどんのおいしさを伝えたい。駅周辺にぎわいづくりに一役買えればと思っています。

コムボックス佐賀駅前の1階にあるJAさが直営さが風土館季楽直販本店やAコープ街かど畑は、おかげさまでオープンから2年半を迎えました。新型コロナウイルス感染が続く中で営業でしたが、外出の自粛などで自宅での「中食・内食」が広がったこともあり、Aコープには当初予想を上回る多くのお客様にお越しただいています。一方、県外からの観光客の方はずっと少なかったのですが、ここ数か月はだいぶ状況が変わってきました。県外の観光客も増え、アジアなどからの外国人観光客の方も目立ってきています。季楽では、佐賀にしかない農畜産物を扱っており、佐賀牛をはじめ、佐賀米・佐賀ん酒など県内はもちろん県外の方々に好評いただいています。買い物に来られるお客様に飽きられないように商品の入れ替えも頻繁に行っています。

佐賀の農畜産物売り込みたい

さが風土館 季楽 直販本店 統括店長 江頭省吾さん



「佐賀の素晴らしい農畜産物や加工品をPRしたい」と話す江頭省吾さん=佐賀市駅前中央のさが風土館季楽直販本店

駅前交流広場ができ、とてもよかったです。夕方になると、学生や仕事帰りの人らが広場のベンチで語り合っておられる姿をよく見ます。駅とコムボックスをつなぐ大屋根の灯りは暖色系でいい雰囲気です。イベントにも大勢の方が見えられています。広場のオープニングとして市と連携して開いた「うまいも市場」や「秋の実りクイズラリー」などいづれも大にぎわいでした。まちなかだけでなく、これまで駅周辺も空洞化による影響が指摘されてきました。間もなくSAGAアリーナがオープンし、2024年には国スポ・全障スポがあります。さらに駅周辺整備も進められるため、私たちも大いに期待しています。全国からお見えになる多くのお客様に佐賀の素晴らしい農畜産物や加工品をPRし、提供していきたいと思っています。



佐賀駅高架下西側リニューアルの完成イメージ

佐賀駅高架下西側の新商業エリア 「さが発」「さが初」など15店

サガハツ

4月26日開業



店舗の詳細はこちらから

出店一覧

★は「さが発」
☆は「さが初」

- ★ Repos ~ルポ~ ※ベーカリー
- ☆ ステラおばさんのクッキー ※洋菓子
- ★ 嬉乃すし ※寿司お持ち帰り
- ☆ comcrepe (コムクレープ) ※クレープ
- ★ CENTRAL BEEF (セントラルビーフ) ※食品・牛肉
- ☆ 火の茶房 ※焼立てほうじ茶
- ★ SAGA BAR (サガバー) ※佐賀の酒と食
- ☆ ギンダコハイボール酒場 ※たこ焼き
- ★ NO-STAND (ノースタンド) ※串 立ち飲み
- ☆ 小さな韓国 あぶる ※韓国料理
- ★ Beee+マルシェ&カフェ ※カフェレストラン
- ☆ 焼き鳥と鶏料理 さびと
- ★ YOKATO!(よかと!) ※地域産品・イベント情報など発信
- ケンタッキーフライドチキン ※フライドチキン
- OWNDAYS (オンデーズ) ※メガネ

佐賀駅周辺で民間の動きも活発になる中、この春一番の注目は、JR九州ビルマネジメントによる佐賀駅高架下西側のリニューアルです。開発のコンセプトは「さが発」と「さが初」。佐賀の魅力発信するお店や、佐賀初目見えのお店を中心に15店舗で構成し、施設名は「サガハツ」に決まりました。4月26日にオープンします。

同社によると、西九州新幹線開業を起爆剤にした西九州エリアのまちづくりを進めることが狙いです。対象面積は約2800㎡。駅の中央改札口より西側のエリアが一新されます。

「さが発」のお店としては、期間限定の出店で人気を集めた「SAGA BAR」(サガバー)が登場。県産酒を飲み比べできるほか、今回はスケールアップした形で料理メニューも充実します。「CENTRAL BEEF」(セントラルビーフ)は杵島郡白石町にある提携牧場の赤身がおいしい和牛肉を販売。Farm o Tableを掲げ、牛肉料理などもテイクアウトできます。佐賀銀行グループの地域商社が北部九州の逸品を販売する「YOKATO!(よかと!)」も話題を呼びそうです。

「さが初」としては、福岡などで人気の「ステラおばさんのクッキー」「小さな韓国あぶる」などが目見え。東京原宿で人気を呼んだ焦がしクレープの「com crepe」(コムクレープ)、九州に40店舗を展開するBeeroomの新業態店「焼き鳥と鶏料理 さびと」なども登場します。整備エリアには、地域のみならず活用いただけるイベントスペースなども設けられます。JR九州ビルマネジメント佐賀営業支店は「さが発、さが初」のお店がいっぱいです。佐賀駅の新しい名所になれば」と話しています。